



檜原学園
Hinohara Gakuen

檜小だより

檜原学園檜原小学校



11月号

令和3年度

11月1日(月)

ホームページアドレス <http://rlco.jp/hinoharasyougakkou/>

音楽の力

校長 乙津 秀敏

朝晩大分冷え込むようになりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。光陰矢のごとしとはよく言ったもので、校長室の壁掛けカレンダーも残り2枚となりました。一年で一番長いと言われる2学期も半ばを過ぎました。引き続き子供たち一人一人の自己肯定感、自己有用感を高められるよう進めていきたいと思えます。さて、今回は文化の日まつわりの話題、中でも特に「音楽」に関するお話とさせていただきます。

ここ数年、音楽を楽しむ環境が大きく変化してきたため、以前よりも簡単にいつでもどこでも様々な方法で楽しむことができるようになりました。私の小学生時代は家にいてレコードをかけるか、ラジオを鳴らすしか方法がありませんでしたが、今ではいつでもどこでも音楽を楽しむことができます。しかも特別な機器は必要無く、スマホ一つあれば済むほどです。また、音楽のジャンルも広がりました。中でもデジタル分野における進化が目覚ましく、実態のない歌手が歌ったり、楽器を一つも使わずにオーケストラを演出したりすることもできます。今後も更に進化を続けることでしょう。音楽は言葉と同様に勇気を与えてくれたり、安らぎを与えてくれたりと私たちにとって、欠かすことのできないものとなっています。

このような音楽ですが、学校では音楽科において子供たちは日々学習しています。その音楽科の目標について学習指導要領を見てもみると、以下のように記載されています。「表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。」これを見るとやはり学校における学びだけにとどめるのではなく、日々の生活の中で音楽と豊かに関わる能力を育成することが掲げられています。尚、この後更に次のように記載されています。「音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。」ここからは音楽活動に実際に取り組むことの大切さが伝わってくるかと思えます。音楽を聴くだけでなく、また頭で理解するだけでなく、自ら歌い奏でるといった体験をすることがとても大切だということが分かるのではないのでしょうか。

令和元年度末から始まったこの新型コロナウイルス感染症の影響により学校における音楽科の指導は従来通りとはいかなくなりました。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中では、大勢での歌唱や一部楽器の演奏はリスクが高いものとして示されているからです。そこで学校では密を避け、換気を徹底し、体育館で行う等の工夫をして取り組んできたところです。そのような中、例年開催されていた郡連合音楽会も昨年度に引き続き中止となりました。この音楽会への取組を通して学ぶことはとても多く、前述した学習指導要領の目標に迫るためのよい機会となっていました。そこでこの音楽会の代替として子供たちに仲間と共に協力して音楽に取り組ませる機会を探っていました。そのような中、緊急事態宣言も解除となった今、右ページにあるように本校だけの檜小コンサートを開催することといたしました。練習時間も限られていること、密にならない人数で実施すること等を考え3年生から6年生による取組としました。保護者の皆様には久しぶりの子供たちの音楽を楽しんでいただけたらと思っています。そして、自らの手で合唱、合奏を創り上げた子供たちの頑張りをぜひ褒めていただけたら幸いです。そうすればきっと子供たちは日々の生活を音楽の力を借りながら豊かで素晴らしいものとしていくことでしょう。どうぞよろしくお願いたします。

元気アップウィーク



10月11日(月)から10月17日(日)まで、2学期の元気アップウィークがありました。家庭においても取組へのご協力ありがとうございました。

学校では10月7日(木)の元気アップ集会で元気アップカードに掲載されている「魔法のストレッチ」と「じゃんけんでもう」をしました。ストレッチ等は家でもやってみようと思いましたがいかがだったでしょうか？

11月の末には学園のマラソン大会もあり、元気アップ週間の後も、体力向上に向けての取組があります。継続して運動することで疲れにくい身体になったり、今までできなかった運動ができるようになったりと運動の楽しさを感じてもらえれば嬉しいです。

元気アップウィーク担当 山田 剛史

11月の生活目標

相手の気持ちを考えて 行動しよう!



相手の気持ちを考える。高学年になってくると考え方や感じ方が人によって違うことに気付き、相手がどんな気持ちになるのかを考える事ができるようになります。中学年だと、自分ならどう思うのか?という点から相手がどう思うのかを考えていきます。低学年では、相手がどんな気持ちになるのかを教わることで理解できることもあります。

どの学年でも相手の気持ちについて対話を通して聞くことが大切ではないかと思います。

11月は東京都ふれあい月間です。交流を通して相手の気持ちを考える事ができる1か月にしていきたいと思っています。

生活指導担当 山田 剛史

親子読書旬間

9月27日(月)から10月8日(金)まで、今年度2回目の親子読書旬間がありました。

学校では朝、読書の時間をとったり、図書館訪問を行ったりして読書活動に取り組みました。

10月15日(金)には檜原村立図書館の永田先生による「語り」を聞く時間もありました。

ご家庭でもご協力いただき、ありがとうございました。



図書担当 小林 忍

展覧会・マラソン大会

2年に一度の展覧会が11月26日(金)～27日(土)に開催されます。

今回のテーマは「つながる、ひろがる ～自分の世界と友達の世界～」です。学習の中で、人、物、作品、授業、それぞれがつながったり、広がったりして学びを深めてきました。また、子供たちの思いや考えを大切にしながら、作品づくりを進めてきました。

展覧会では、図工を中心に家庭科、生活科、総合的な学習の時間、書写など様々な作品を展示いたします。日頃子供たちが作っている作品を見ていただき、保護者の皆様に子供たちの温かさや面白さを感じていただければと思います。

子供たちの作品はどれを見ても感動ばかりです。作品だけでなく、作品づくりの過程も想像していただけると嬉しいです。尚、27日は、マラソン大会の応援につきましてもどうぞよろしくお願いいたします。

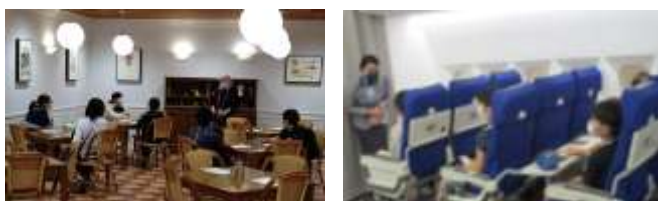
臨海学園(岩井海岸)

10月7、8日に岩井臨海学園に行ってきました。天候に恵まれ船釣り、うちわ作り、干物作りなどの体験を行うことができました。宿舎から一歩出ると目の前に海が見える景色にとっても感動しました。檜原村では体験できない貴重な活動を楽しむことができました。5年担任 堀本太郎



Tokyo Global Gateway(体験型英語学習施設)

10月1日に4年生が、26日に6年生がTGGに行ってきました。子供たちは、英語で物を注文したり、発表をしたりと、たっぷり英語に触れる一日となりました。



地域安全教室(警視庁音楽隊)

10月21日(木)に地域安全教室を行いました。今回は、南郷駐在所の善如寺さんから安全に関するお話をいただき、その後、警視庁音楽隊の方々の演奏を鑑賞しました。子供たちは、迫力ある演奏に感動していました。



音楽発表会(檜小コンサート)

先月の学校便りでもお伝えさせていただいたように、以下の時程で行います。ぜひご来校ください。

日時: 11月4日(木) 5校時(13:35～)

場所: 檜原小学校体育館

内容: 3年生から6年生による音楽発表